



# 青山コウヘイ

事務所ニュース No.5 2016年12月23日

## 青山候補、連日街頭で訴え

地方採決は許されない!

12月16日に閉会した臨時国会では、カジノ法、年金カット法、TPPへの参加・関連法が国民多数の反対に関わらず、強行採決されました。早期の衆院解散・総選挙も取り沙汰される中、青山コウヘイ東京4区予定候補は連日街頭演説を行い、安倍政権の暴走政治を批判。国民の暮らし最優先の政治への抜本的転換を訴えています。

### 青山コウヘイ予定候補

今回強行採決された法案は、どれも一部の大企業の目先の



西馬込駅前でする青山候補

り組みや参議院選挙を通じ、新しい政治を作る力、市民と野党の間にある共闘と実感しています。

利益を追求し、私たち国民の命と暮らしを壊していくものばかりです。カ지노法に至っては、負ける人からお金を巻き上げるもので、これで経済成長を進めるなど、とてもまともな経済政策とは言えません。この道では、ますます家計消費は落ち込み、経済成長の面でも未来はありません。働く人、中小企業、地域経済を元気にする経済政策へ切り替えていくことこそ、景気回復の一番の道です。私は、「戦争法廃止」の取

### 青山コウヘイ プロフィール

日本共産党、衆議院東京第4区(大田区の中南部)予定候補。91年(平成3年)生まれ。現在25才。静岡県沼津市出身。中央大学法学部卒業。全日本学生自治会総連合(全学連)、首都圏学生9条の会ネットワーク事務局などで活動。一部の人の利益のために、大多数の人たちが苦しめられる政治を終わらせたい。東京4区から、日本共産党の議席・国民の議席を獲得するため、頑張ります!

来る衆議院選挙で、自民、公明、維新を少数派に追い込み、憲法に基づいた、国民のための政治を取り戻すため全力を尽くします。



大田区民プラザでの、前進座「たいこどんどん」の公演後、主演のお二人と

# 東京4区から青山コウヘイさんを国政へ

JMITU（日本金属製造情報通信労働組合）大田地域支部執行委員長  
下山田 不二夫



下山田さんと握手する青山候補(大田労連事務所)

## 青山さんは、超大型新人

青山さんは現在25歳、青春真只中です。海に山に海外旅行に遊び盛りの年代です。志を持って日本共産党の新人として国政にチャレンジしているのですから立派と言うほかありません。私も青山さんの年齢の時は、非公然で労働組合作りをしていました。四年かけて公然化しました。私は、職場と地域が活動の場でしたが、青山さんが国政に行ったら国会はもちろん、問題のあるところ日本中を駆け巡ることでしょう。

JMITU大田地域支部は、組合員の

労働条件の向上と未組織労働者の組織化をするための活動をしています。支部には、たくさんの方の労働相談が持ち込まれます。ほとんどの問題を解決します。

しかし、労働法制がどんどん改悪されて解決が難しくなる場合があります。労働者派遣法が1986年から施行されました。自民党から当時の社会党まで賛成しました。反対したのは、日本共産党だけでした。今や非正規労働者が全体の4割にもなります。正規労働者が非正規労働者に置き換えられて酷い会社では、正規労働者が一人もいません。契約時ごとに労働条件の引き下げが行われています。

一方自民党政府は、財界から莫大な政治献金をもらって財界に利益が誘導されるような労働法制の改悪を進めています。年金カット法は、物価に合わせるのではなく賃金に合わせるとしています。非正規労働者をどんどん増やせば賃金水準は下がります。

とにかく労働条件も年金も憲法も、日本共産党が大きくなるかならないかで将来の幸福度が決まると言っても過言ではありません。そんな時、青山さんが国政で活躍してくれたらどんなに素晴らしいことでしょうか。私は、青山さんを国政に送るために奮闘します。

## 《コウヘイ こらむcolumn》

先月末、「大田若者デモ」に参加し、安保法制廃止、南スーダンへの派兵反対を蒲田のみなさんにアピールしました(参加者は26人)。

沿道や車に乗る方のほとんどがこちらを見てくれることに驚き！大変多くの方の注目を集めていたと思います。

国会前での運動と同時に、草の根で大きな世論を作り上げることが戦争法廃止の大きな力になります。今後とも、大田の青年の一人として、みなさんと力を合わせて頑張ります。

(青山コウヘイ)



「大田若者デモ」の様子

## 青山コウヘイの25年⑤



3歳の頃(自宅の薬局で)

昂平(コウヘイ)は年少組から3年保育で近くの幼稚園に入園しました。

同じ年の子が近所にいなかったため、入園前は大人相手に遊ぶことが多かった事や引つ込み思案な性格だったことも事もあり、お友達に馴染めるか心配でしたが、少しずつ慣れて楽しそうに通うようになりました。この頃からスイミングスクールに親戚の子と通い始めました。

(母)